

JAPRS

JAN.2022 No.2
初夏号

目 次

会報初夏号に向けて	1
令和4年度・JAPRS行動指針について	2
2021年JAPRSエンジニア研修会 Vol.2	4
第28回プロ録音楽録音賞に向けて	5
JAPRS 2022 年5月～6月の活動予定について	6
会員動向	7
経済構造実態調査へのご協力をお願い	9
成年年齢引下げ後に成年に達した若年者に対する適切な対応の呼びかけについて	10

会報初夏号に向けて

(一社) 日本音楽スタジオ協会
会長 高田 英男

心地よい音～感性基準

桜の美しさ、ハナミズキの可憐さ、青葉の爽やかさ、深くなっていく緑、自然の力を感じる季節の中、心地よい音を探す。

小鳥のさえずり・遠くから聴こえる子供が遊ぶ声・トンネルの中で響く声・水の音・・・意外と少なく・・・生活空間には多くない。

仕事では、ピアノの深く広がる響き・サックスの柔らかい音色・繊細なベルツリーの音色・強いグルーブ感のドラム&ベースの音・バイオリンの繊細な響き・腹に響く和太鼓の響き・感情豊かな歌声。

「心地よい音には共通点がある。」

余韻が美しい・心がやすらぐ・ピアノシモが美しい・元気になる・感情が豊かになる。
心地よい音の判断は個人的な感性で全てが決まります。

長年録音エンジニアとして音楽録音制作をし、数値化出来ないそれぞれの「感性基準」を持つことが凄く大切と感じています。

スタジオの中でアコースティック楽器の音色を聴き、音創りの意図を明確にしてマイクを選択するなどは、それぞれの感性で全てが決まる事ではありますが、更にそれぞれの感性は時代々々で変化（進化）して行くと感じます。

音楽業界に次世代の人材が多く活躍する時代に入り、専門学校で学びこの業界を目指す学生の皆さんにとって、基本的技術（DAW 操作）の習得は一番の重要課題であると同時に、若い時にこそ音楽の楽しさを通して、それぞれの感性を豊かにして欲しいと願っています。

そして音楽制作が個人として制作～発信出来る、今という時代だからこそ、音楽の感動が共有出来る体験を重ね、音で気持ちが伝わる音楽制作を目指して欲しい。

時代が凄く速いテンポで、たくさんの情報が溢れていく時代だからこそ、それぞれの感性の深さが求められると感じます。

作家、城山三郎 著書『静かに健やかに遠くまで』
“静かに行くものは健やかに行く、健やかに行く物は遠くまで行く”

令和4年度・JAPRS 行動指針について

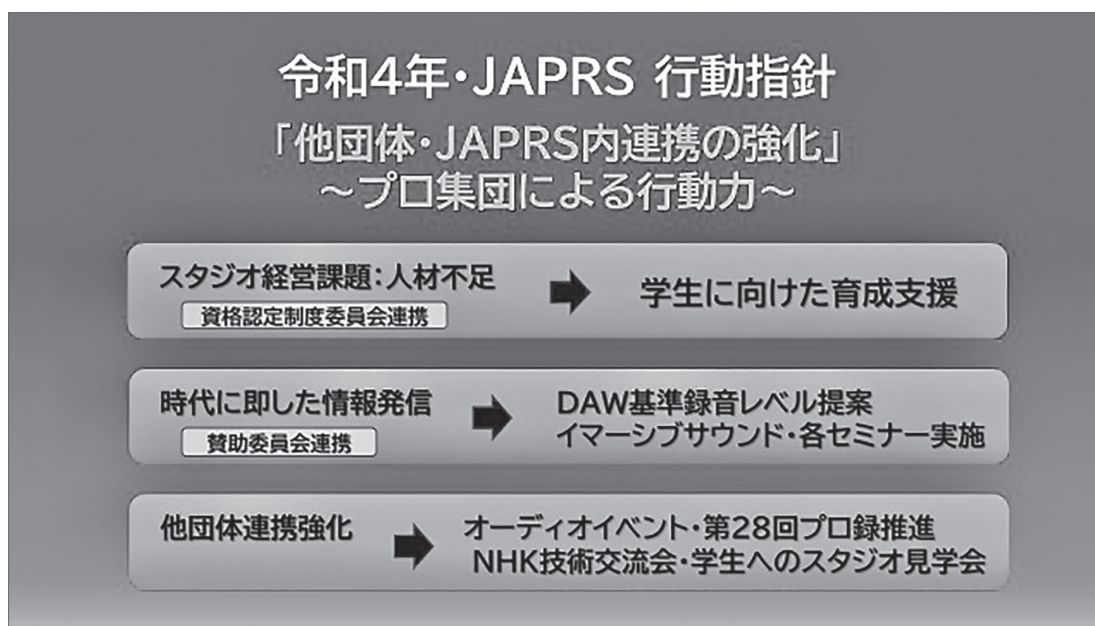
(一社) 日本音楽スタジオ協会
会長 高田 英男

世界中でコロナ禍がまだまだ収まらない中、ロシアのウクライナ侵攻が勃発し、ビジネス的に大きな影響が出ている現在、日常生活にも精神的な不安が増す時代になっております。

その様な状況の中、令和3年度・日本音楽スタジオ協会の事業計画ですが、お陰様で皆様のご協力をいただき、基幹事業計画実施を含めオンライン対応が可能な各業務に対しては遂行することができ、心より感謝申し上げます。

令和4年 JAPRS 新年会は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ中止とし、新年会において会員の皆様にお伝えする予定でありました令和3年度事業計画実行推移～令和4年 JAPRS 行動指針につきましては YouTube による動画配信をいたしました。ここであらためて令和4年度の行動指針をお伝えさせていただきます。

「令和4年度・JAPRS 行動指針」



コロナ感染拡大への対策を慎重に進めながらビジネスを進めていく今、スタジオ協会としては、プロフェッショナルとして行動力の強化・タイムリーな情報発信など各委員会との連携を強化し、更に業界他団体との連携を図り、積極的な行動力をテーマといたします。

○各委員会との連携

- ・コロナ禍で実施が出来ない現状もありますが、会員間の交流強化推進。
- ・アシスタントエンジニア人材不足に向けた専門学校への育成支援（セミナー対応）。
- ・新たなスタジオビジネスに繋げるためのイマーシブサウンドによる音楽制作に向けたセミナー（技術・営業対応・設備環境）。
- ・スタジオ協会ホームページの更新、そして活用による情報発信強化。

○業界他団体との連携

- ・第28回 日本プロ音楽録音賞の実施（オーディオ協会との連携、「音の日」）
- ・OTOTEN 2022、JAPRS 加盟各社からの協力をいただきプレゼンの実施。
- ・NHK との技術交流の強化。
 - *技術交流会による次世代の伝送技術セミナー（映像・音声）

スタジオ業界としてのビジネスは厳しい状況が続きますが、皆様のご協力をいただき、課題に向かってチャレンジし続ける行動により、スタジオ業界の活性化～発展に向けて貢献出来ればと思っておりますので、令和4年度 日本音楽スタジオ協会への変わらぬご支援の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



「令和3年度事業計画実行推移～令和4年 JAPRS 行動指針」
YouTube にて動画配信しております。

2021 年 JAPRS エンジニア研修会 Vol.2 「サウンド創りへの基本講座」

専門学校委員会では、コロナ禍により開催を中止とした「レコーディングセミナー～スタジオワーク編～」の代わりとすべく、専門学校生に向けた動画によるセミナー「2021 年 JAPRS エンジニア研修会 Vol.1」を高田会長のご協力のもと作成し、2021 年 9 月から YouTube による配信を行いました。

Vol.1 では、レコーディングのドキュメント映像から感じ取れるエンジニアやアシスタントがレコーディングに臨む姿勢や考え方を中心に解説をしましたが、「サウンド創りへの基本講座」としてレコーディングエンジニアのサウンド創りにスポットを当てた「2021 年 JAPRS エンジニア研修会 Vol.2」を作成し、2022 年 3 月から YouTube による配信を行いました。

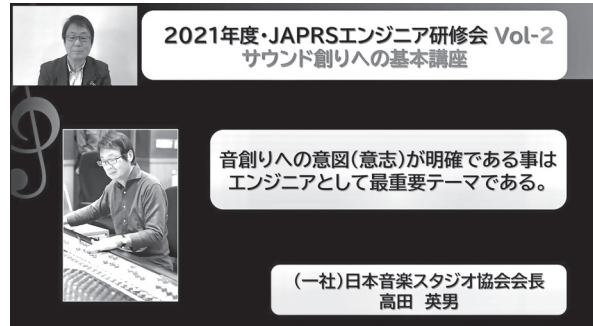
内容は「1. ミックスにおけるレベル設定～帯域バランスについて」、「2. サウンド創りへの意図を明確にする重要性とは」、「3. 音創りへの感性を磨く為に」となっており、題材としている楽曲を実際にレコーディングしたスタジオの紹介やマルチトラックに収録された個々の楽器（ドラム、ギター、ベース）を立ち上げながら、サウンド創りの基本を動画にて解説しています。

中でも「内沼式サウンド・イメージの実践」については、これからエンジニアを目指す方々にはサウンド創りの基本として是非一度ご覧いただきたい内容となっています。

（※ 内沼 映二氏 /JAPRS 名誉会長）

この動画によるセミナーは、Vol.1 そして Vol.2 とともに、2022 年も JAPRS 会員の専門学校にはご覧いただけることとなりましたので、是非ご視聴希望の連絡を事務局までいただければ幸いです。

セミナー動画作成にあたり Vol.1 から引き続きご協力いただきました、井筒香奈江さん、キング関口台スタジオの皆さん、そして高田会長に感謝申し上げます。



第28回日本プロ音楽録音賞に向けて

JAPRS 会報 2022 年新春号でもご報告した通り「第27回日本プロ音楽録音賞」につきましては、新型コロナウイルス感染症への配慮をしながらの運営を行い、昨年12月6日（月）にキング関口台スタジオにて授賞式を開催いたしました。3月10日に報告書の発行、そして運営委員会におきまして実施内容の報告および総括を行いました。

また、新たな取り組みとなりました授賞式の様子を収録した動画のYouTube 配信につきましても、多くの視聴をいただき3月31日を以て限定公開期間を終了いたしました。

昨年度は今の時代に即した形で顕彰区分の見直しを行い、運営・審査を進めて参りましたが、その中で課題となりました顕彰内容や新型コロナ感染症対策を含めた運営内容の精査を行い、第28回の日本プロ音楽録音賞へ向けて動き出しております。

第28回につきましては、より多くのレコーディングエンジニアの方々に「プロ録」を認知、そして応募をいただき、業界の発展に貢献をして行けるよう努めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



表彰状



YouTube での表彰式収録動画配信
(3月31日までの限定公開)



表彰楯

BEST SOUND BEST MUSIC

第27回日本プロ音楽録音賞
受賞作品&エンジニア紹介

本賞は音楽制作の発展の発展の一環として、音楽制作の現場に貢献したエンジニアに、その功績を顕彰する目的で、毎年開催されています。今年も、音楽制作の現場に貢献したエンジニアの功績を顕彰し、その功績を顕彰する目的で、毎年開催されています。今年も、音楽制作の現場に貢献したエンジニアの功績を顕彰し、その功績を顕彰する目的で、毎年開催されています。

【受賞作品】計 16 作品

- ・Best Sound部門：アタシは、ジャズ、フュージョン（最優秀賞 1 作品、優秀賞 1 作品）
- ・Best Sound部門：ポップス、ロック（最優秀賞 1 作品、優秀賞 1 作品）
- ・Best Sound部門：ポップス、ロック（最優秀賞 1 作品、優秀賞 1 作品）
- ・Super Water Sound部門：（最優秀賞 1 作品、優秀賞 1 作品）
- ・Immersive部門：（最優秀賞 1 作品、優秀賞 1 作品）
- ・アットホーム部門：（最優秀賞 1 作品、優秀賞 1 作品）
- ・特別部門：（最優秀賞 1 作品、優秀賞 1 作品、優秀賞 1 作品、優秀賞 1 作品）
- ・特別部門：（最優秀賞 1 作品、優秀賞 1 作品、優秀賞 1 作品、優秀賞 1 作品）
- ・特別部門：（最優秀賞 1 作品、優秀賞 1 作品、優秀賞 1 作品、優秀賞 1 作品）

受賞作品&エンジニア紹介ページ

JAPRS 2022年5月～6月の活動実施と予定について

「Avid Pro Tools セミナー」

- ・4月末に発表された Avid Pro Tools の新ラインアップおよび Pro Tools 2022.4 のリリースに関する情報共有の場として、5月18日（水）に技術委員会主催のセミナーをオンライン開催。
“3つの新ラインナップ Pro Tools Artist / Pro Tools Studio / Pro Tools Fex”

「2022 年 JAPRS 企業説明会」

- ・コロナ禍で一昨年は開催見送り、そして昨年はオンライン開催としました JAPRS 企業説明会を、専門学校からの強い要望を受けて5月21日（土）に東放学園音響専門学校 清水橋校舎にて感染症対策に配慮しながらの対面開催。

「OTOTEN 2022 への協力出展」

- ・一般社団法人 日本オーディオ協会が主催、国際フォーラムにて6月11日と12日に開催されるイベント「OTOTEN 2022」に、次世代のエンジニア人材育成支援を含めオーディオに興味のある世代に向けて、会員4社の協力をいただき国際フォーラム G410 会議室にてセミナーを開催。

「イマーシブオーディオセミナー Dolby Atmos について」

- ・会員社でも Dolby Atmos 対応スタジオが作られ、業務としての対応が動き出す中、技術的な内容だけではなく、スタジオ運営側が業務として受ける際の疑問点を事前に集め、それに答える形で、実際に制作に携わっている方をパネリストとして迎えての対談やオンライン形式での勉強会を織り込み6月3日（金）に開催を予定。

JAPRS 技術認定試験実施日程について

第21回 サウンドレコーディング技術認定試験

- ・2022年7月3日（日）実施
出願申請期間（個人） 4月4日（月）～5月17日（火）
※2022年度版サウンドレコーディング技術認定試験問題集 / 技術資料集 4月20日発行

第19回 Pro Tools 技術認定試験

- ・2022年9月11日（日）実施
出願申請期間（個人） 6月1日（水）～7月12日（火）
※2022年度版 Pro Tools 技術認定試験問題集 / 技術資料集 6月20日発行予定

会 員 動 向

1. 会員数（令和4年6月1日現在）

正会員（法人）	20 法人	準会員	1 法人
正会員（個人）	13 人		
賛助会員Ⅰ	42 法人	賛助会員Ⅱ	2 法人

2. 法人・会員代表者および住所変更、その他

①法人正会員

○法人代表者変更

株式会社 JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント
（旧）齊藤 正明
（新）植田 勝教（代表取締役社長）

○会員代表者変更

株式会社 JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント
（旧）君塚 範男
（新）石野 憲一（ビクタースタジオ長）

②賛助会員Ⅰ

○会員代表者変更

国際アート&デザイン大学校
（旧）中野 寿郎
（新）齋藤 勇二（学校長）

ビジュアルアーツ専門学校

（旧）細谷 逸人
（新）酒葉 明大（キャリアセンター）

○住所変更

タックシステム株式会社
（旧）東京都品川区上大崎 3-5-1
（新）東京都品川区北品川 5-9-11 大崎 MT ビル 11F

3. その他

○会長変更

一般社団法人日本音楽著作権協会
（旧）いで はく
（新）弦 哲也

○ビル名変更

一般社団法人日本音楽出版社協会

(旧) Daiwa 南青山ビル

(新) L' ARCO 南青山ビル

経済構造実態調査へのご協力をお願い

総務省・経済産業省では、令和4年6月に全ての事業所・企業を対象とした「経済構造実態調査」を実施いたします。

この調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づき実施する国の重要な統計調査（基幹統計調査）であり、報告の義務があります。

ご回答いただいた調査内容は統計法に基づき、厳重に保護されます。

調査をお願いする企業・事業所や団体の皆さまには、国が調査を委託した事業者から、調査票などの調査書類を、5月中旬から順次郵送いたしますので、インターネット（難しい場合は郵送）にて、ご回答をお願いいたします。



詳しくは、以下の URL から経済構造実態調査のホームページをご覧ください。

<https://www.stat.go.jp/data/kkj/index.html>



【主な目的】

国民経済計算の精度向上 / より正確な景気判断や効果的な行政施策の立案 / 企業の経営判断

【調査対象・事項】

製造業及びサービス産業に属する一定規模以上の全ての法人企業（甲調査）、特定のサービス産業に属する企業及び事業所（乙調査）が対象です。

甲調査：（対象）個人経営の企業及び農林水産業、建設業等、一部の産業に属する企業を除く全ての産業分野の企業

（事項）経営組織／資本金／企業全体の売上及び費用の金額／主な事業の内容／事業活動の内容および事業活動別売上金額など

乙調査：（対象）特定のサービス業に属する無作為抽出により選定された企業・事業所

（事項）事業の形態／売上金額／会員数／年間契約件数／入場者数／従業員数など

成年年齢引下げ後に成年に達した若年者に対する 適切な対応の呼びかけについて

平素より当協会の活動に御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

御承知のとおり、成年年齢を引き下げること等を内容とする民法改正法が令和4年4月1日に施行され、成年年齢の引下げ後は、18歳・19歳の若年者が親の同意を得ずに契約を結ぶことができるようになり、また、未成年者であることを理由として結んだ契約を取り消すことができなくなります。

成年年齢の引下げについては、18歳・19歳の若年者の消費者被害拡大の防止等の環境整備の重要性が指摘されており、それらの指摘を受けて、平成30年4月以降、法務大臣を議長、内閣官房副長官補を副議長とする「成年年齢引下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議」を継続的に開催し、その進捗管理の下、関係府省庁において、若年者に対する消費者教育の拡充を始めとする環境整備の施策が推進されてきました。また、本年1月には、岸田内閣総理大臣のもとで、「成年年齢引下げに関する関係閣僚会合」が開催され、施行に向けてこれらの環境整備の施策をより強力に推進することが確認されたところです。

成年年齢の引下げ後に新たに成年として契約の当事者となる若年者は、契約の締結に当たって、その契約によって得られるものや支払う対価等を考慮した上で、その契約の締結が自身にとって有益なものなのかについて判断することが求められます。したがって、貴社においても、新たに成年に達した若年者との間で契約を締結するに当たっては、そのような若年者が契約の内容を的確に理解し、判断するために必要な情報の提供等についての配慮が求められるものと考えられます。

これまでも、貴社においてはこのような配慮がされてきたものと承知しておりますが、成年年齢引下げの施行を間近に控えたこの機会を捉え、下記の要領で、貴社の従業員等に対し、成年年齢引下げ後に成年となる若年者に対する適切な対応について、呼びかけを行っていただきますよう、お願い申し上げます。

記

- 1) 新たに成年に達した若年者との間で契約を締結するに当たっては、引き続き、若年者が契約の内容を的確に理解し、判断するために必要な説明を行うなどの配慮をお願いいたします。
- 2) 関連する以下の動画・ポスター、リーフレットの電子媒体を併せてお送りしますので、貴社の従業員等への周知に当たって、御自由に御活用ください。
- 3) 以上のほか、貴社の実情に応じ、従業員等に対し、効果的な呼びかけ等を行っていたら幸いです。何とぞ、よろしくお願いいたします。

- ・成年年齢引下げ特設ウェブサイト「大人への道しるべ」
<https://seinen.go.jp>



- ・動画「1分でわかる成年年齢引下げ」
<https://www.youtube.com/watch?v=qmfpH8e7KQo>



- ・成年年齢引下げに関するパンフレット
<https://www.moj.go.jp/content/001300586.pdf>



- ・成年年齢引下げに向けた高校生向けリーフレット「18歳を迎える君へ」
https://www.moj.go.jp/housei/shihouseido/houkyouiku_koukouseimukeleaflet.html



- ・「東京リベンジャーズ」とタイアップした政府広報キャンペーン
https://www.gov-online.go.jp/tokusyu/seinen_18/index.html



♪ 編 集 後 記 ♪

今年も早くもうっとおしい梅雨の季節とりました。

梅雨と言えば雨ですが、野球というスポーツは東京ドームが1988年に国内初の屋根付き野球場として建設・開場されてから、多くの球団がドーム球場化して、雨による試合中止がドーム球場では基本的には無くなりました。しかし野球の醍醐味、魅力はやはり屋外だと私は思っています。「月に向かって打て」という様な名文句は今後は生まれなくなってしまうね。

Ryu1.N

そろそろ普通の生活をと考えてはいますが、昨今の状況が既に普通になりつつある怖さ・・・マスクを外すと何となく恥ずかしい自分がいたりします。

Pesonai

春は不安定な天気が続きましたが、この夏はどうでしょう？長期予報では「平年と同様に」となっていますが。

mm

*****総 務 委 員 会*****

委 員 長 中村 隆一（ミキサーズラボ）

委 員 内藤 重利（事務局）

” 伊東 真奈美（ ” ）

【発行人】 会 長 高 田 英 男 【発 行】 2022年（令和4年）6月

【発行所】 一般社団法人 日本音楽スタジオ協会

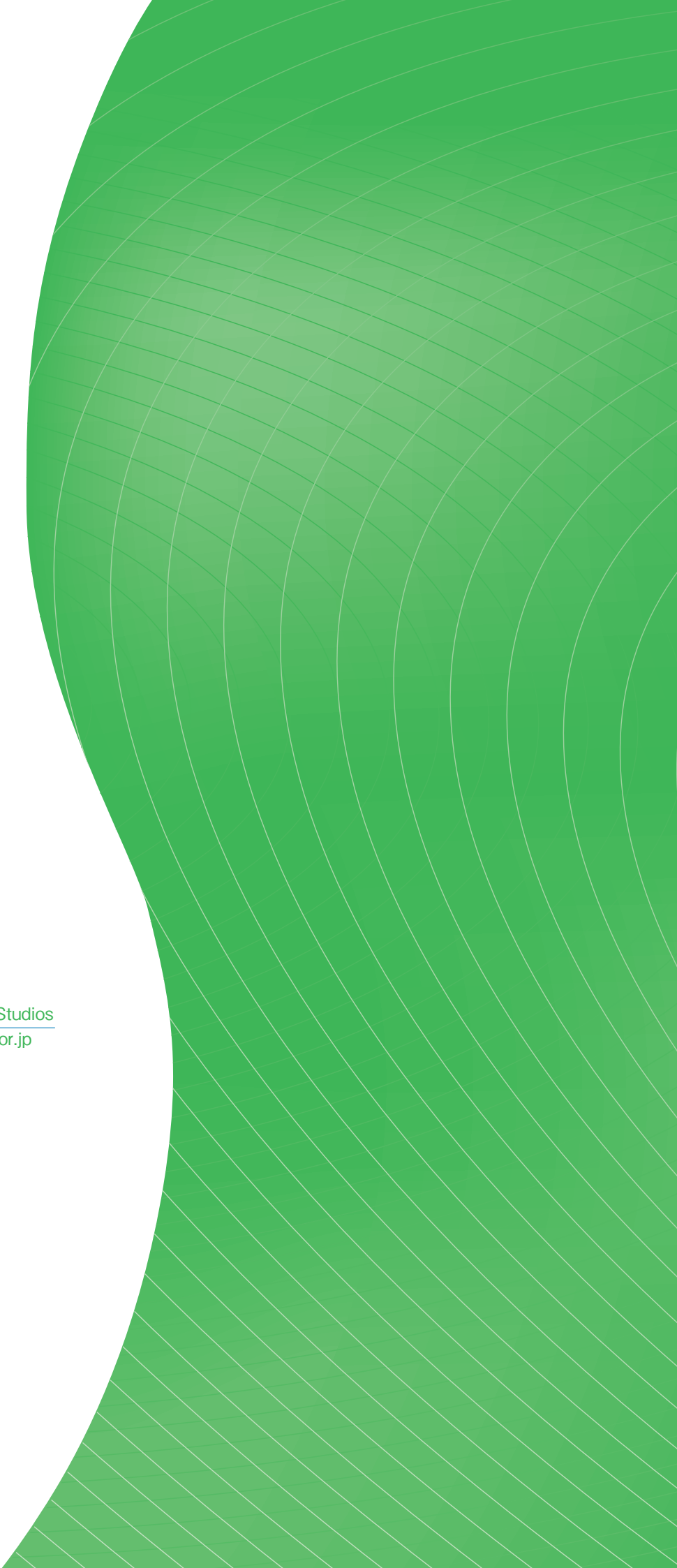
〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目1番11号 モナーク大久保3F

TEL. 03-3200-3650 FAX. 03-3200-3660

<https://www.japrs.or.jp> E-mail:japrs@japrs.or.jp

【編 集】 総 務 委 員 会

【印刷所】 株式会社研恒社



JAPRS

Japan Association of Professional Recording Studios

<https://www.japrs.or.jp> E-mail: japrs@japrs.or.jp